

CS・地域学校協働活動研修会開催要項

～地域と学校が共に創るこどもたちの未来～

1 趣旨

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進についての理解促進を図るため、地域と学校の連携が求められる背景やその意義、連携により学校や地域に期待される効果、コミュニティ・スクールに求められる役割、学校運営協議会の効果的な活用法等を学ぶ研修会を開催する。

2 主催

青森県教育委員会

3 期日・会場・申込締切

地区	期 日	会 場	申込締切
西北	8月26日(水)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	8/12(水)
下北	9月8日(火)	むつ来さまい館	8/25(火)
三八	9月1日(火)	ハートフルプラザ・はしかみ	8/18(火)

【御都合の良い地区に御参加ください。】

4 対象

地域連携を担う教職員（国公立小・中・義務教育学校及び県立学校）、県教育委員会及び市町村教育委員会職員（地域学校協働活動担当者、コミュニティ・スクール担当者、指導主事、社会教育主事、社会教育士等）、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター 等

※県教育委員会では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に積極的に取り組むこととしていますので、関係者の参加について御配慮願います。

5 日程・内容（各地区共通）

13:00	13:15	13:20	14:20	14:30	16:20	16:30
受付	開会	講 義	休憩	演習（模擬熟議）	閉会	

（1）講師：ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之 氏【西北】

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 客員研究員 猿渡 智衛 氏【下北・三八】

※両氏とも文部科学省から委嘱されたCSマイスター

（2）講義内容

地域と学校の連携が求められる背景やその意義、連携により学校や地域に期待される効果、コミュニティ・スクールに求められる役割、学校課題の解決や働き方改革につながる効果的な実践事例、学校運営協議会の活用法（効果的な熟議の在り方等）、地域連携を担う教職員や行政担当者に期待される役割 等

（3）演習内容：講師をファシリテーターとするワークショップを通じた模擬熟議の体験

テーマ例 ・学校教育に地域の力をどう生かす？

・地域と連携・協働してこどもたちにどんな力を育みたいか？

・学校が地域に貢献できることは？ 等

6 申込み方法

研修会開催日の2週間前（上記3参照）までに、右の2次元コードまたはURLから申し込みください。

参加申込2次元コード



<https://forms.gle/KBhZm6W22pTzPUaJA>

7 担当・問合せ先

青森県教育庁生涯学習課 地域連携推進グループ 指導主事 宮本 貴文
TEL: 017-734-9890 E-mail: takafumi_miyamoto@pref.aomori.lg.jp

8 その他

- (1) 本研修会は来場しての受講を原則としますが、業務の都合等により来場できない場合は勤務場所等で受講できるよう講義のみオンライン(Zoom)で配信します。希望する場合は、申込みの際に「オンライン配信」を選択してください。
- (2) 他地区の研修会へも参加(オンラインを含む。)できます。申込みの際に、御希望の地区を選択してください。

【講師略歴】

○ふくしま学校と地域のみらい研究所 代表 安齋 宏之 氏(西北)

福島県大玉村教育委員会指導主事として勤務した際、コミュニティ・スクール導入に携わった。その後、小学校校長として、各校でコミュニティ・スクールのよさを生かした学校経営を実践してきた。平成25年度からは文部科学省CSマイスターとして、全国での講演活動を通してコミュニティ・スクールの推進に取り組んでいる。令和3年度にはコミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議委員(文部科学省)を務めた。また、令和6年度からは、中央教育審議会生涯学習部会の臨時委員を務めている。

<主な活動実績>

- ・R7 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 仙台 分科会助言者

<本県での主な活動実績>

- ・R3～4 当課主催 地域との連携を担う教職員研修 講師
- ・R5～7 当課主催 地域学校協働活動研修 講師

○金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 客員研究員 猿渡 智衛 氏(下北、三八)

高校卒業後、弘前大学に進学。在学中に教育カウンセラーの資格を取り、不登校の子どもたちの支援も行う。卒業後は横浜市青少年育成協会で、放課後事業の立ち上げに関わる。横浜市での10年間の小学校勤務を経て、文部科学省生涯学習政策局社会教育課に出向し、被災三県と熊本県における復興教育の推進に従事。原発事故被災地の福島県楢葉町に移住し、2年間の小学校勤務後、指導主事兼地域学校協働センター長として、被災地の地域コミュニティ創生を4年間推進してきた。令和2年度から、鎌倉市放課後かまくらっ子推進参与。令和6年度からは、文部科学省CSマイスターとして、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に取り組んでいる。

<主な活動実績>

- ・R7 第73回日本PTA全国研究大会石川大会 分科会コーディネーター
全国コミュニティ・スクール研究大会 in 仙台 分科会助言者

<本県での主な活動実績>

- ・R5 県教育委員会主催 地域学校協働活動推進のための研修 講師